



2002年12月02日

フォルクスワーゲン、2003年パリ・ダカール・ラリーに初参戦

— 11月28日(木) ハノーバー / ウォルフスブルグ発 —

フォルクスワーゲンは、2002年11月28日から開催されているエッセン モーターショーにおいて、2003年に記念すべき25周年を迎えるパリ・ダカール・ラリーに、オフロード バギー プロトタイプ “ターレック”(ローマ字表記:Tarek)で参戦することを発表。この国際的にもよく知られているアフリカ横断耐久クラシック ラリーにデビューするに当たり、フォルクスワーゲンは3台の“ターレック”を投入し、ユッタ クラインシュミット(独) / ファブリツィア ポンズ(伊)組、ステファン アンラール / ボビー ウィリス(ともにベルギー)組、ディーター デッピング / ヴァルター バッハフォーバー(ともに独)組を起用。経験と強さを兼ね備えたドライバーで臨みます。フォルクスワーゲンがパリ・ダカール・ラリーに参戦するのは初めて。

この3台のマシンはFIAのT2レギュレーションに基づき、“バギー”とみなされます。「軽量パイプ構造にカーボンファイバー ボディを採用している“ターレック”は、堅牢かつ信頼性の高いコンセプトに基づくものであり、世界でもっとも過酷なクロスカントリーにおいて、フォルクスワーゲンが新たな経験を積むにあたり、絶好のマシンになると確信しております。クルーにとっては、クロスカントリー ラリー特有の地理的環境に触れる初の機会となり、できるだけ早くこの種の競技コンディションに順応したいと考えています。今回のパリ・ダカール・ラリーは、今後数年に渡り最も優秀なライバルに立ち向かう初めての機会となります。」とフォルクスワーゲン レーシングの統括責任者R. シュトロツィクは語っています。

160kW(218bhp)の1.9リッター4気筒TDIエンジンを搭載する“ターレック”は、11月に南フランスで最終調整を終えた後、モロッコで行われたテストにおいても、高いレベルの信頼性と戦闘力を発揮しました。シャーシおよびボディワークの開発は、フォルクスワーゲンと著名カロツェリア、イタルデザイン・ジウジアーロ・グループとの共同開発によるものです。

2003年パリ・ダカール・ラリーは、同年1月1日にフランス南部のマルセイユをスタート。スペイン、チュニジア、リビアを経由し、紅海沿岸のシャルム・エル・シークを目指します。フォルクスワーゲンにとって、2003年パリ・ダカール・ラリーが初のクロスカントリー イベントであり、これを礎として、2002年パリ オートサロンでデビューし、フォルクスワーゲンによる高級SUVとして話題となっている“トゥアレグ”のラリー バージョンによる参戦も検討されています。

VW AG プレスサイトwww.volkswagen-presse.de にアップされている広報写真をぜひご利用下さい。

ユーザーネーム: Dakar パスワード: Essen (12月15日まで使用可能)

VW AGは一般向けとして、パリ・ダカール・ラリーの専用サイトを開設しました。

<http://www.touareg-dakar.com/> (ドイツ語のみ)

本件に関するお問い合わせ先

フォルクスワーゲン ジャパン 広報部 ドロテア ガストナー、池畑 浩 tel. 03-5575-7362 fax 03-5575-7367 vw-pr@vgj.co.jp

一般のお客様からのお問い合わせ先

フォルクスワーゲン カスタマー センター tel. 0070-800-551133